

3. 検証及び問題点の抽出

【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

i) 児童生徒の安全確保対策の推進については、県内の希望する市町にスクールガードリーダーを配置するとともに、雲仙市をモデル地域に指定し、防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業を実施することで、県内の児童生徒の学校内外における安全確保に向けた取組を推進することができた。しかしながら、通学路の安全確保については、市町ごとにばらつきがないように、今後の実施を含めて検討していく必要がある。



4. 29年度実施に向けた方向性

【問題点解決に向けた方向性】	【個別事務事業の見直し】		見直しの方向	見直し区分
	事務事業名	事業構築の視点		
i) 児童生徒の安全確保対策の推進 学校安全研究推進費については、市町ごとに通学路の安全確保の方法が異なるため、今後の事業の運用方法については再検討の余地がある。また、想定される災害は地域ごとに異なるため、防災教育推進事業については新たな地域を指定することで継続していく。	学校安全研究推進費	⑤	平成28年度においては、地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、安全で安心な学校を確立するため、スクールガードリーダーを11市町18名配置している。 平成29年度においては、地域の実態に応じた安全確保ができるよう、現在配置している市町の取組状況や意向を踏まえながら、事業の縮小を図る。	縮小